

明日のコミュニケーションをデザインする

お客様の目線に立った「これからのコミュニケーションをデザイン」することで、
お客様の価値向上と豊かな社会の実現に貢献してまいります。

NEC ネットエスアイ通信

第83期中間期(第2四半期累計期間) 株主通信 2014年4月1日～2014年9月30日

トップインタビュー

過去最高の業績をめざすとともに中期目標を達成し株主価値を高めてまいります。



▶▶▶ P1

事業概況/Special Focus

NECネットエスアイをさらに知っていただくため企業広告を始めました。



▶▶▶ P3

セグメント別事業概況

各セグメントのご紹介と事業概況を掲載しました。



▶▶▶ P4

Contents

- トップインタビュー
- 事業概況/Special Focus
- セグメント別事業概況
 - ・ 企業ネットワーク事業
 - ・ キャリアネットワーク事業
 - ・ 社会インフラ事業
- 青少年育成支援
「南極くらぶ」活動の近況
- 会社/株式情報





トップインタビュー

平素は格段のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第83期中間期(2014年4月1日~2014年9月30日)の株主通信をお届けするにあたり、ここに、事業概況および経営成績につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも、株主の皆様の一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役執行役員社長 和田 雅夫

Q1 受注高、売上高の2桁成長が継続していますね。好調の要因をお聞かせください。

当中間期は、消費税率引上げの影響や海外景気の下振れなどの懸念はありましたが、緩やかな回復傾向が続き、当社のICT(情報通信技術)市場におきましても全体として堅調に推移いたしました。

このような状況のなか、当中間期は、受注高、売上高および全ての利益項目で予想値を達成できました。受注高、売上高はともに、前年同期比13%の伸長となりましたが、これは、主にICT投資の回復を捉えて企業向けが増加したことや、消防・防災システムを中心にした社会インフラ分野の拡大に加え、昨年度連結会社化したキューアンドエー(株)、NECマグナスコミュニケーションズ(株)が業績に寄与したことによるものです。

利益面でも、売上高の拡大に加え、コスト削減努力の継続により、営業利益が45億円、四半期純利益が27億円と増益を達成できました。

これらの結果、中間配当は計画通りに1株当たり32円とさせていただきます。年間配当予想についても64円と変更なく、8期連続で増配予定です。

Q2 通期業績予想を上方修正しましたね。各事業ごとの見通しはいかがですか？

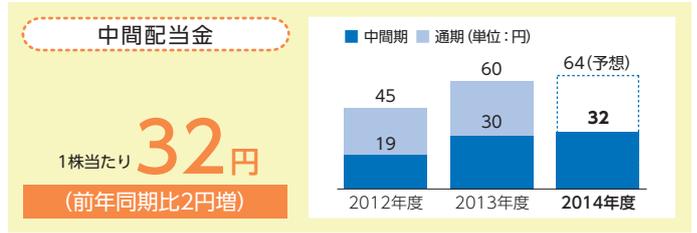
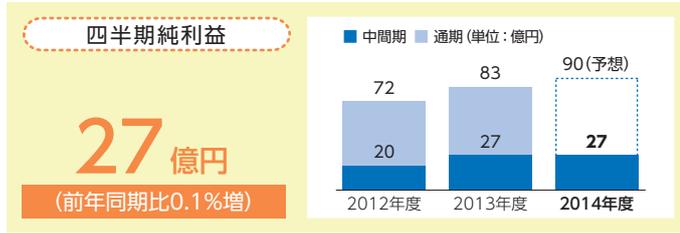
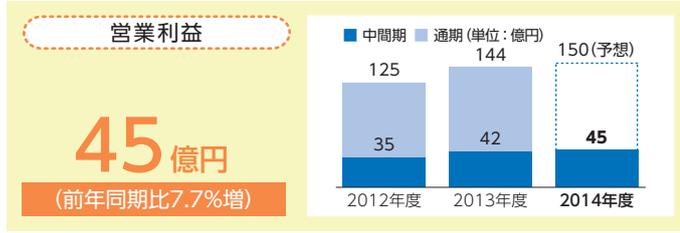
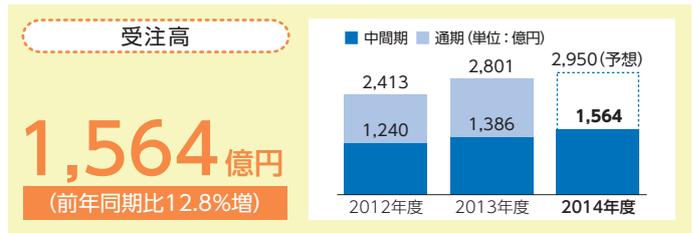
海外情勢の影響など依然として不透明要因もありますが、企業におけるICT投資の回復や官庁・自治体における安心・安全に係わるインフラ投資の活発化など、当社の事業環境は全体として堅調に推移するものと考えております。

企業ネットワーク分野では、景気回復を受け、ICT投資の回復傾向は続くと考えており、注力しているオフィス改革ソリューション“Empowered Office (EO)”^{エンパワードオフィス}を中心に、積極的に取り組んでまいります。キャリアネットワーク分野は、通信事業者の設備投資が前年度まで高水準だった影響もあり、厳しい状況を予想しておりますが、ビル内基地局などの伸長する分野に注力してまいります。社会インフラ分野は、住民の安心・安全をテーマとしたインフラ整備が続くものと期待され、受注したプロジェクトを着実に遂行してまいります。

通期の業績につきましては、このような環境認識や当中間期の実績を踏まえ、受注高、売上高を上方修正いたしました。受注高は前期比5%増の2,950億円、売上高も5%増の2,850億円、営業利益、当期純利益については期初予想の150億円、90億円と、それぞれ過去最高をめざします。

財務ハイライト

※予想値は、2014年10月30日現在のものです。



Q3 中期経営計画は中間地点ですね。目標達成に向けて進捗状況はどのようになっていますか？

2016年3月期目標値は売上高2,900億円、営業利益160億円、営業利益率5.5%、ROE(自己資本利益率)10%です。今年度は、この目標に向け、売上高予想を修正するなど順調に進んでおります。特に、EO事業、インフラ事業の注力分野の成長が加速しております。

EO事業では、オフィス改革の需要をより早い段階から発掘すべく地域開発会社や不動産会社との連携を図っております。また、かねてより進めてきた全国の支社・支店のEO化により、首都圏以外のお客様からの引き合いが前年から倍増するなどEOブランドもさらに浸透しつつあると感じております。

テクニカルアウトソーシング事業では、製品・部材の受入や保管、出荷といった物流機能とシステムの評価・検証や調整、修理といった技術サービス機能を併せ持った総合テクニカルセンター(sDOC)が7月より本格稼働いたしました。すでに多くのお客様にご見学いただいております。SI系の販売会社など新しいお客様に

も受注実績が広がっております。

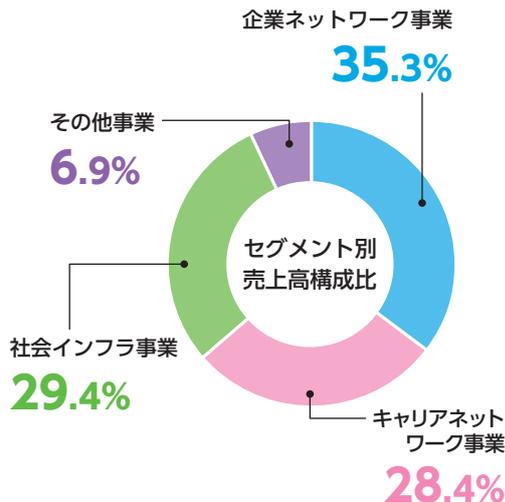
インフラ事業では、消防・防災システム分野が好調です。特に消防・救急のシステムにおいては、NECグループの強い製品力も活かし、累計受注で2割程度の市場シェアを獲得していると認識しております。モバイル分野では、前年度の大型投資の反動はありますが、首都圏の屋外基地局でシェアを拡大しております。今後は当社の得意とするビル内基地局に投資が移ることもあり、受注拡大を図ってまいります。

海外事業では通信インフラ関係で既存の大手顧客への深耕を進めております。タイの大手通信事業者AIS社の3G通信網構築プロジェクトは、最終的に2年間で約100億円の規模にまで拡大いたしました。また、サウジアラビアでは、大手石油会社アラムコ社向けのサウジアラビア西岸地域のプラント通信での受注規模が拡大しており、さらに次のプロジェクトの受注に向けて取り組んでまいります。

これらにより中期目標を達成し、株主価値を高めてまいりたいと考えておりますので、株主の皆様には今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業概況

当社は、【企業ネットワーク事業】、【キャリアネットワーク事業】、【社会インフラ事業】の3つの事業を柱に、企業内のICTから公共・社会インフラに至る幅広い分野で、企画からシステム設計、保守・運用までの一貫したサービスをお客様に提供しています。さらに、これまで培ってきた提案力・ノウハウ・技術力を活かし、新しいサービス事業を拡大してまいります。



P4より、各セグメントの事業内容の一例を私が紹介します♪



Special Focus — NEC ネットズエスアイ 企業広告を開始

● TVCM

- ・「日経朝とく」(BSジャパン) 月～金曜(6時40分～7時30分)
※当社CMは火、水の週2回 6時40分～7時の「マーケットアイ」の時間帯に放映。
- ・「NIKKEIプラス1をみてみよう」(BSジャパン) 土曜(9時～10時)

● 交通

- JR東日本(山手、中央、京浜東北、総武(各停)等)の車内ドアガラスステッカー(12月10日～2月9日)

NEC ネットズエスアイって、何をしている会社なんですか？

私たちNEC ネットズエスアイは、お客様のコミュニケーションを支えています。ICTと空間デザインによって社員が生き生きと働けるオフィス。便利なスマホをつながりやすくする移動体ネットワーク。安心で安全な消防・防災ネットワーク。NEC ネットズエスアイは、さまざまなソリューションを通じてコミュニケーションの世界を支え、お客様のさらなる価値向上とよりよい社会づくりに貢献しています。

明日のコミュニケーションをデザインする
NEC ネットズエスアイ株式会社



10月1日から若手女優の逢沢りなさんをナビゲータにTVCM、新聞、雑誌、電車内での企業広告を開始しました。ICTを活用した新しいオフィス空間や大容量データ通信を支えるネットワーク、暮らしの安心を支える消防・救急ネットワークなどの当社の事業についてお伝えしています。ぜひご覧ください。

お客様のコミュニケーションを

- より便利に
- より快適に
- より安心して 使えるように…

ホームページ特設サイト
<http://www.nesic.co.jp/pr/index.html>

NEC ネットズエスアイを、知ってください。





セグメント別事業概況

企業ネットワーク事業

ICTと空間デザインを活かした働きやすいオフィス環境を提案しています

ネットワークやITプラットフォームなど事業活動の基盤となるさまざまなICTと、それを使いこなすための働きやすい環境を提案するオフィス改革ソリューション「EmpoweredOffice」を提供しています。

「EmpoweredOffice」には、

- スピード経営の実現
- コミュニケーションの活性化
- 情報共有と活用、セキュリティの強化
- 省エネ、省資源
- 地域特有の課題解決

などのさまざまなオフィス課題を解決する特長があり、ペーパーレスや情報共有だけでなく、働き方の価値を高めることをめざしています。

当社では、本社オフィスのほかに全国の支社・支店でも「EmpoweredOffice」を実践しています。特に、関西支社では全国に先駆け最新のICTを活用し、全メンバーがスマートデバイスを使い、場所に依存しないワークスタイル改革を進めています。新しいオフィスの考え方、働き方をお客様に直接体感していただくことで、全国での新たなお客様の開拓や既存のお客様への提案へとつなげています。



壁がないから他部門とのコミュニケーションも良好(中部支店)



最新のICTを導入したオフィスをお客様に見学いただき拡販につなげる(関西支社)



席が決まっていないから、仕事に合わせて移動。スペースと作業の効率化を図る(本社)

EmpoweredOffice



テレビ会議で経営の意思決定や現場状況の共有をスピードアップ(九州支店)



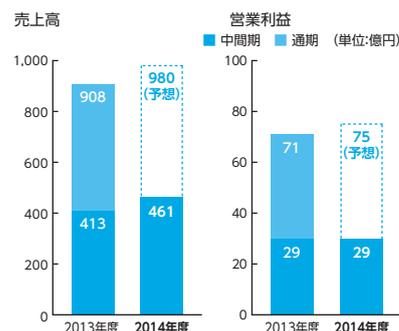
地域の特性を活かしたデザインでお客様を歓迎(北陸支店)

全国の7つのオフィスが「日経ニューオフィス賞」を受賞しているんですって!

売上高/営業利益

売上高 **461億円**
(前年同期比11.5%増)

「EmpoweredOffice」を軸にしたさらなる拡販やお客様の業務プロセス改革や経営をバックアップする総合的なサービス提供基盤拡充の一環として昨年キューアンドエー(株)を連結会社化したことなどにより前年同期比11.5%の増収となりました。



※予想値は、2014年10月30日現在のものです。

※今年度より、従来「社会インフラ」セグメントに含まれていた移動体基地局等の通信事業者向け工事事業を「キャリアネットワーク」セグメントに含める等の報告セグメントの内容変更を行っており、前年度についてもこれに合わせた組替え値で表示しています。



セグメント別事業概況

キャリアネットワーク事業

毎日のコミュニケーションを良好にする大容量ネットワークを支えています

通信事業者に対して、ネットワークの設計・システム構築、保守・運用などのサービスを提供しています。近年スマートフォン(スマホ)の普及にともなってネットワークの通信量が急激に増加しています。これに対応し、つながりやすい高速な通信を可能にするためには、

- 通信基幹網(通信の高速道路)の整備
- 基地局(高速道路の出入口)の効率的な設置
- 迅速なサポートサービス

が不可欠です。

当社は、通信基幹網におけるシステムの設置や設定・調整などを行い、データが1つの経路に集中しないよう、スムーズに流れる通信基幹網づくりのお手伝いを行っています。

通信の出入口である携帯基地局については、効率的にエリアをカバーする配置設計から、実際の設置工事、そして設置後の保守サービスまで一貫したサービスを提供しています。現在、さらなるつながりやすさ改善のため、ビル内基地局整備が拡大しており、当社もこれに注力しています。

また、問題が起きた場合でもすぐに対応できるよう、日本全国をカバーする万全の保守・サポート体制を構築しており、安心かつ便利なスマホライフを支えています。

屋外基地局からビル内基地局まで、きめ細かい対応でどこでも快適なスマホライフをサポート



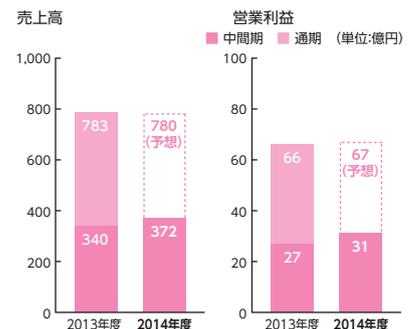
笑顔あふれる
コミュニケーションを広げるため、
映像やデータの渋滞を
起こさせないスマホの
ネットワークづくりを
支えているんですね。



売上高/営業利益

売上高 **372億円**
(前年同期比9.4%増)

独自のネットワーク技術・セキュリティ技術力を保有するNECマグナスコミュニケーションズ(株)を昨年連結会社化した効果により、前年同期比9.4%の増収となりました。



※予想値は、2014年10月30日現在のものです。



セグメント別事業概況

社会インフラ事業

幅広いネットワークインフラで 安心・安全な暮らしと便利な生活を支えています

官庁・自治体や放送・交通などの公益企業のネットワークを支えているのが社会インフラ事業です。現在、この分野では、119番通報を受け消防本部から各消防署へ迅速かつ適切な指令を行うための消防・救急ネットワークの構築が活況を呈しており、当社もNECグループの強力な製品力を活かし日本全国の消防本部にシステムを提供しています。さらに、5か国語で119番通報の対応をサポートする多言語コールセンターサービスも行っています。

また、地震や津波、台風などの情報を一斉にお伝えする防災行政無線、道路や鉄道などの運行・事故情報を伝え素早く対応するための交通情報ネットワーク、4K・8Kといった次世代放送システムなど、社会の安心・安全と便利を支えるインフラづくりに取り組んでいます。特に、今後は、無線と補完し合いながらきめ細かい情報をお伝えするインフラとして自治体ネットワークの重要性が高まっており、当社としても注力してまいります。



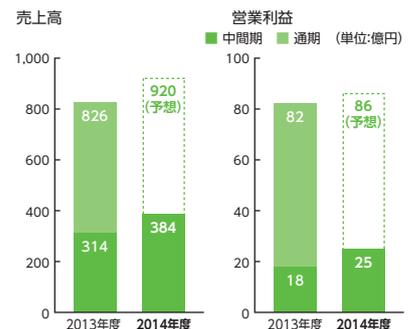
東京オリンピックなどで
多くの外国人が
日本を訪れると、
多言語コールセンターの
ニーズはますます
高まりますね！



売上高/営業利益

売上高 **384億円**
(前年同期比22.4%増)

本格化している消防・防災システムのデジタル化投資をはじめとする安心・安全をテーマとしたICT関連の公共投資に積極的に対応し、前年同期比22.4%の大幅な増収となりました。



※予想値は、2014年10月30日現在のものです。

青少年育成支援「南極くらぶ」活動の近況

小学校へのお出前授業に加え外部イベントにも出展

これまで南極越冬隊に27年間にわたり社員を派遣してきた経験を活かし、青少年育成支援を目的に、越冬隊経験者が、南極の自然環境や動物、越冬隊員の生活の様子などについて小学校で出前授業を行う「南極くらぶ」を開催しています。



2013年1月から、地元東京都文京区(本社所在地)をはじめ、東日本大震災被災地である岩手県などの11校で開催し、最近では外部の青少年向けイベントへも出展させていただいています。8月8日には、夏休みの自由研究などに最適子ども向けの体験学校「企業と学ぶこども博士学校 in 豊洲」(日経BP社・日本経済新聞社主催)に「南極くらぶ」を出展し、写真やビデオだけでなく、何万年も前の地球の空気を含んだ南極の氷や隊員の防寒服を持参し、約100名の子どもたちに南極を楽しく実体験してもらいました。



会社／株式情報(2014年9月30日現在)

■ 会社概要

商号 NEC ネットズエスアイ株式会社
英文商号 NEC Networks & System Integration Corporation
証券コード 1973(東証1部上場)
創立 1953年12月1日
資本金 13,122,268,265円

■ 主要グループ会社

〈国内〉 NEC マグナスコミュニケーションズ株式会社
ネットズエスアイ東洋株式会社
株式会社ニチワ
NEC ネットイノベーション株式会社
キューアンドエー株式会社
NEC ネットズエスアイ・エンジニアリング株式会社
NEC ネットズエスアイ・サービス株式会社
株式会社ネシックアセレント

〈海外〉 NESIC BRASIL S/A
NESIC (Thailand) Ltd.
NESIC PHILIPPINES, INC.
耐希克(广州)有限公司
Networks & System Integration Saudi Arabia Co.Ltd.

■ 株式の状況

発行可能株式総数 100,000,000株
発行済株式の総数 49,773,807株
株主数 7,940名

■ 所有者別株式分布状況



■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本電気株式会社	19,106	38.43
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・ 日本電気株式会社退職給付信託口)	6,400	12.87
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,489	3.00
CMBL S.A. RE MUTUAL FUNDS	1,399	2.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,313	2.64
住友不動産株式会社	1,200	2.41
MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	737	1.48
JP MORGAN CHASE BANK 385166	699	1.41
NEC ネットズエスアイ従業員持株会	668	1.34
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	546	1.10

(注) 1.日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・日本電気株式会社退職給付信託口)の持株数は日本電気株式会社が退職給付信託として当社株式を拠出したものであり、実質的には日本電気株式会社の議決権に含まれます。よって、2014年9月30日現在の日本電気株式会社の実質的な議決権保有割合は51.41%であります。
2.持株比率は、自己株式(52,472株)を控除して計算しております。

■ 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 公告方法 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。(http://www.nesic.co.jp/) ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

【株式に関するお届出およびご照会について】

- ・郵便物等の発送と返戻について
- ・支払期間経過後の配当金について
- ・特別口座に関する事項 (特別口座から一般口座への振替請求等)

➡ 三井住友信託銀行 ☎ 0120-782-031

- ・単元未満株式の買取・買増請求
- ・住所・氏名等の変更
- ・配当金の受領方法(銀行振込等)の指定

➡ 株主様がお取引のある証券会社

※証券会社に口座をお持ちでない株主様は上記の三井住友信託銀行